



平田 孝義議員

子ども医療費
中学3年まで
完全無料化に
ついて
平田 子育ての
不安や重症化防
止による早期発

問 自然エネルギーへの転換政策は

答 太陽光発電の活用が期待できる

平田 太陽光などの自然エネルギー発電による電力買取制度が始まり、爆発的な普及の中、太子町では、地産地消エネルギーへの転換をどう考えるのか。

生活福祉部長 立地条件、気象条件、収益性など課題がある中で、現在では導入経費に見合う太陽光発電が、本町でも期待できる。

平田 長い将来を見据え、放射能による心配がある原発に頼らず、自然エネルギーの普及に取り組んできた地域の情報を調査し、転換を町民との協働で目指してもらいたい。

見や、少子化対策支援としても大きな力となる子ども医療費完全無料化の導入は。

生活福祉部長 県の医療費助成事業が27年以降不透明な状況で、町独自として、財政的に非常に厳しい状況になると考える。県の方針、財政の動向を見きわめつつ、検討していく。

平田 大幅な増税が見込まれない中、無駄を省き将来の財産である子ども達に対して、良い判断を願う。



太陽光パネル（龍田小）

問 法曹有資格者の職員採用が必要では

答 現状の顧問弁護士と無料法律相談の契約を継続する

福井 地方分権化が進む中、各自治体はその権限強化に伴い新たな対応に迫られている。中でも法務の重要性が上げられ、住民の法律相談の迅速かつ的確な対応にも弁護士等、法曹有資格者採用が必要になるのでは。

総務部長 法曹有資格者を採用している団体は、比較的人口規模の大きい団体であり、日常的に多くの問題や紛争等が発生している事が想像できる。本町の場合、規模を考えると法曹有資格者の採用よりも、顧問弁護士による現在の形態が最適であると考ええる。

福井 弁護士職員を特集した新聞に弁護士2人を採用した市の記事がある。仕事内容は、住民税等滞納者に早期納付を促す。多重債務者には、債務整理のアドバイスを行うとある。弁護士、本来

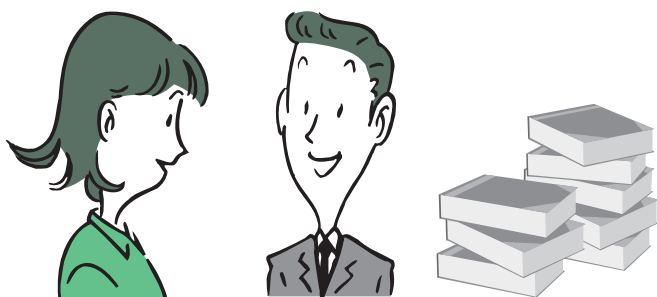
の業務の合間を縫って1日3時間、週2日勤務の任期付職員として、年間60万円。2人分120万円である。太子町の本年度の顧問弁護士委託料と、町民法律相談委託料の予算は135万円であり、このような形で、採用しては。

総務部長 現状の顧問弁護士と無料法律相談で、事足りている。



福井 輝昭議員

ある。弁護士、本来





問 学校の扇風機設置はいつ？

答 できるだけ早く行う



中島 貞次議員

中島 本年度予算で執行する町内の小・中学校（一部）教室の壁掛け型扇風機設置状況を探ねる。一部であるところと不公平ではないのか。また、今後全校に設置するべきではないか。

教育次長 夏場の良好な教育環境の充実を図るため、全校設置を目指していた。しかし、ふるさと応援寄付金を使用して事業を進めるが、学校運営上、特色ある必要な教育備品選定で、壁掛け扇風機をふくめて学校自らが選定した結果、一部実施となった。

中島 設置場所は、天井設置がよいと考えるが、また設置時期はいつになるのか。

教育次長 実施設計を作成中であるが、これから暑くな



扇風機

るので、できるだけ早く工事が発注できるようにしたい。当初、壁掛け型を想定していたが、天井型に変更した。

中島 学校ごとの実施状況が違うので、保護者の間で不平や不満等が出ないか心配だが。

教育次長 我々もそういうことはあるかもしれないという気持ちを持っている。しかし、学校がみずから決定し、選定した経緯などをふまえながら、PTA等から説明を求められれば誤解のないように説明する。

問 消えかけた道路の白線への対応は

答 町管理道路は状況に応じて補修していきたい



井川 芳昭議員

井川 太子町内の道路幅員の白線または、センターラインの白線が消え、雨天時に道路幅が見えにくく、事故につながる危険性があるため早急に白線の引き直しをする必要があると思うが、本町での現状の把握と今後の対応は。

経済建設部長 各道路の車道中央線ではみ出し通行禁止の規制線は、交通管理者であるたつの警察がパトロールし、適宜補修をしている。それ以外の車道中央線及び車道外側線については、各道路管理者により適宜補修している。町管理道路も、今後順次状況に応じて補修をしていきたい。

井川 太子町として、道路の白線等の管理はどのようにしてきたのか。

経済建設部長 業務で町内を走っているの、そのときに目視する。また住民からの通報で現場に行って、その都度確認している。

井川 どのような基準により判断をしているのか。

経済建設部長 基準と言われると非常に微妙な話になるが、予算を伴うことであるので予算の範囲内で、出来るだけ考えた



消えかけた白線

税条例の改正を慎重に審査

総務常任委員会

6月13日

調査課題について

6月の委員会で調査課題を協議し、昨年度と同じ「住民の参画と協働情報公開の具体的あり方について」を課題と決めた。他にも各委員が調査したい課題がある場合、課題・内容・進め方を適宜委員会に提出し、全体の課題とするかどうかが協議することとした。

付託案件を審査

太子町税条例の一部を改正する条例の制定について

審査経過

地方税法の一部を改正する法律が公布、施行されたことにより、本町の条例を改正するもの。主な質疑答弁は次のとおり。

問 住民税の寄附金税額控除の復興特別所得税分の縮減を問う。

答 平成25年1月から復興特別所得税の創設により所得税が増える。ふるさと納税は所得税及び住民税で2000円を超える金額を税額控除、所得控除で寄附された方に返す制度である。今回復興特別所得税が創設された関係で、所得税の税額控除が増えるが、寄附金控除そのものは2000円を超える額と決まっております。所得税の控除が増えると、住民税の控除がその分少なくなる。所得税と住民税の按分が若干変わる改正である。

は、ふるさと納税をした人が昨年は約16名。その方たちの税額控除の総額そのものは変わらない。

・延滞金は、今回金利等が低いこともあり国税の改正を受けて地方税法も改正になった。本町条例も改正する。

・住宅借入金の特別控除は、期限が平成25年末の入居までとなっているが、4年延長する。納税者に非常に有利な部分になる。

・町内に事業所を置く認定NPO法人が、住民の寄附によりNPO法人の活動が一層活発になると期待する。

審査結果

全員賛成で可決すべきものと決し、本会議に報告した。

図書館運営のあり方について提言

福祉文教常任委員会

5月臨時会で提言

図書館では、今年度バーコード方式による図書館システムの運用を開始する。委員会として、10年前からすでに同システムを導入している赤穂市立図書館の視察をはじめ、近隣他館の運営状況を調査研究し、5月臨時議会提言を行った。

提言内容

- ・図書館資料の除籍、選定収集基準、取扱い整理基準の明文化の検討。
- ・地震対策として、書架の転倒防止策の検討。
- ・経費節減のため、図書システムはクラウド化の検討。
- ・児童及び中高生向けの歴史や福祉関係等の漫画本の収集の検討。

5月15日

子ども子育て支援事業計画の策定に向けて

町は、国が定めた法律に基づいて、平成26年度末をめどに2カ年をかけて「子ども・子育て支援事業計画」を策定する。当委員会としては、今後、この計画に反映できる提言を行う方向で法律の趣旨、主なポイント等について調査研究を進めることにした。

6月11日

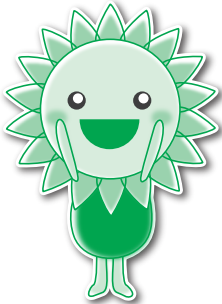
付託案件

国保税の一部改正他

太子町国民健康保険税条例の一部改正（後期高齢者医療移行者が属する世帯への国保税軽減特例の延長及び恒久化）、太子町福祉医療費助成条例の一部改正（入院一部負担金の助成方法を「償還払い」から「現物給付」に変更）について審議を行い、いずれも全員賛成で可決し、本会議に報告した。

請願を採択

「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について」（請願団体 兵庫県教職員組合掛龍支部）は全員賛成で採択することとし、本会議に報告した。



太子町立図書館

JR立体交差30年を目標

経済建設常任委員会

5月14日

都市計画道路の計画及び進捗状況を問う。

都市計画道路の変更がないかを説明を受けた。

・昭和36年頃、都市計画決定されて以降、長期未着手の路線について兵庫県も見直しに入り各市町に見直し案を提示している。

・西播磨県民局が公表している社会整備プログラムにより進捗している太子道路（太子タクシーからたつの方面への道路）は計画では平成26年度完了としていたが、鉄塔移転等があり平成27年度以降へ変更の可能性があらう。

・茶ノ木踏切立体交差事業は平成30年完了を目標に進捗。県事業ではあるが、町も協力し住民との合意形成に努力している。

・町の単独事業である、斑鳩寺線は新庁舎建設に伴い、また林田川線は通り抜けの車が多く危険なため早期に計画を進めたい。

6月12日

所管事務調査報告

実感！グリーンベルト設置の効果は？

スピード抑制・スクーリングの意識・子どものマナー向上に効果があったことを確認した。費用対効果を検証しながら他の地域にも広めていきたいと説明があった。

見えた!? 耕作放棄地の改善策

国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業により、馬場地区にある耕作放棄地を田畑に戻す計画がある。

る。費用は国と耕作者で負担すると説明を受けた。

課題調査

経費削減へ向け努力・研究

前処理場に掛かる経費をさらに削減するため、計画の説明を受けた。

・兵庫西流域下水汚泥処理事業の協議会から、諸条件をクリアすれば生汚泥の搬送が可能である旨の回答をもらい、その費用や効果を検討するためにコンサルへの委託料を補正予算にて提案した。

搬送方法はとの質疑に、バキューム車による搬送となるとの答弁があった。



長金陸橋グリーンベルト

新庁舎に関する様々な動き

新庁舎建設調査特別委員会

4月26日

古い町内施設 どうする？

新庁舎に関連した都市再生整備事業について当局から説明を受けた後、質疑応答を行った。

主な質疑応答

・斑鳩公民館の改修事業は、実施設計を平成27年度、工事は28年度を予定しているが、詳細は内部調整を行っている。

・中央公民館の今後のあり方は、まちづくりのワークショップ事業等を通じて住民の意見を聞き、耐震補強、庁舎の跡地利用を含めて、文化会館・地域交流センターと機能分担をしながら検討していく。

・町民体育館は、耐震化の必要性を含め、別途社会資本整備交付金もしくは

は公園事業の交付金で検討していく。



町民体育館

新庁舎建設 分科会の報告

4月17日に開かれた議会関連施設検討分科会からの報告を受けた後、委員協議を行った。

・議場の名札は、固定ではなく可動式とする。

・議員の退席表は、電光掲示板は必要ない。委員会の案内版表示は必要。

・議場のマイク設備は現状と同じ形で設置するが、コスト面も含め分科会でさらに検討する。

5月27日

議場内設備について 具体的協議始まる！

4月30日に開かれた議会関連施設検討分科会からの報告を受けた後、委員協議を行った。

・委員会室及び会議室のマイク設備は、将来的に委員会が同時開催された場合の議事録作成の必要性を考慮した上で、一つは、本格的なもの、もう一つはコスト面を考慮して簡易なもの、合計2セットで1階・2階の委員会室等に配置すること。

・議場のマイク設備も含めた映像や音響システムは、当局側も細かい仕様を決定していないので継続調査とする。

・住民相談等のための個別スペースを考えてもらいたいとの意見に対しては、仕様等を含め、継続して協議する。

事務組合議会に議員を派遣

揖龍保健衛生施設事務組合議会

《内容》

たつの市と太子町で構成。議員10名（太子町から3名）。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、墓地・埋葬等に関する法律に基づく次の事務事業を審議している。

①一般廃棄物処理計画の策定

②一般廃棄物処理施設（揖龍クリーンセンター及び揖龍衛生処理場）の管理運営

③一般廃棄物の収集、運搬及び処分

④浄化槽汚泥の収集、運搬に係る一般廃棄物処理業の許可事務

⑤浄化槽法に基づく浄化槽清掃業の許可事務

⑥火葬場施設（筑紫の丘

斎場）の管理運営

⑦休日、夜間の急病医療事務（揖龍休日夜間急病センターの監理運営）

《本町からの組合議員》

副議長 井村淳子
議員 井川芳昭
議員 平田孝義

揖龍地区農業共済事務組合議会

《内容》

たつの市と太子町で構成。議員10名（太子町から3名）。

国の農業災害補償法に基づき、「農業者が不慮の事故に因って受けることのある損失を補填して、農業経営の安定を図り、農業生産力の発展に資すること」を目的に、農作物共済（水稲・麦を対象）、家畜共済（乳牛・肥育牛・肉用牛を対象）、畑作物共済（大豆を対

象）の各事業を行っており、その事務事業を審議している。

象）、園芸施設共済（ハウスを対象）の各事業を行っており、その事務事業を審議している。

事故（発生）に対する共済金の支払は、組合・連合会・国の間で支払い責任を分担して支払っている。事故がない場合にも、損害防止活動助成、無事戻し金による還金を行っている。

《本町からの組合議員》

副議長 服部千秋
議員 吉田日出夫
議員 堀 卓史

西はりま消防組合議会

平成25年4月1日から、兵庫県相生市、たつの市、宍粟市、太子町、佐用町で構成される広域消防として、「西はりま消防組合」が設立された。

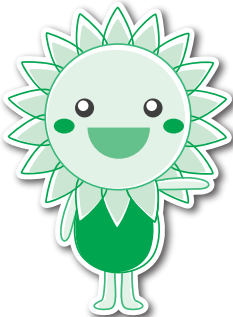
《内容》

火災、救急、救助事案

西はりま消防組合議会

《本町からの組合議員》
監査・議員 清原良典
議員 佐野芳彦

等の対応、消防用設備等、危険物施設等の適正運用についての指導、地域住民の皆様の防火・防災広報を行っている。（本町では引き続き太子消防署が管轄とする）
その組合の事務事業を審議する組合議会として発足し、第1回臨時議会が4月22日たつの市揖保川町総合支所で初めて行われた。
議員構成は各市町より2名、合計10名で構成される。



兵庫県町議会議長会 自治功労者表彰

5月31日兵庫県町議会議長会第64回定期総会が開かれ、佐野芳彦議員が、長年に渡り地方自治の発展に尽力された功績が認められ、自治功労者（町議会議長4年以上在職功労者）表彰を受章されました。

おめでとう
ございます



太子町の スーパー○○さん!

今回は… スーパーおじいちゃん!!

とにかく元気! 本当に100歳ですか! ?と聞いてしまいます。
95歳まで現役で組織の理事長などをやってこられたそうです!!



お名前

梶田 正一 さん

生年月日

大正2年8月7日

経歴

兵庫県町議会議長会長 昭和61年10月～62年4月
太子町議会議長 昭和58年5月～62年4月

春の叙勲 旭日賞受賞

兵庫県町議会議長会自治功労者表彰 など

今年の
誕生日で
100歳!!

梶田さんに聞きました!

みんな聞きたい!
元気&長寿の秘訣!

雨が降らなければ毎日畑にいます。野菜を作るのは生き甲斐になるなあ。

あと晩酌は欠かさない。外へたまに飲みに出て若い人たちと交流することとは元気になっていいね。あと歳をとっても嫌われたらダメやね。

昔の議会は?

昔の議会は元気者が多かった、喧嘩もしたけれど、いざいざというときは一つにまとまっていたね。太子町が不祥事で取り上げられたときは挽回しようとして一生懸命、頑張ったなあ。

人生の大先輩として。

町も大根と一緒に、外観がしっかりしていても中身がスカスカなら意味



がない。住民が幸せを感じ、充実していないとあかん。時代の変化とはいえ、こんだけ高齢になると、付いて行くのが難しいなあ。町が大きくなっても我々の事も考えてほしいなあ。老人会も若い老人が多すぎて本当の老人がかわいそうや。それから年金制度は、きつと国が考えないとあかんあ。

議会傍聴にお越しください!

9月定例会予定

- ・8月30日(金)(第1日/提案説明)
- ・9月2日(月)(第2日/一般質問)
- ・9月3日(火)(予備日/一般質問)
- ・9月4日(水)(第3日/議案質疑)
- ・9月20日(金)(第4日/討論・採決)

◆お知らせ

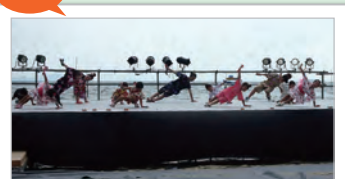
9月の定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局に問い合わせ下さい。

編集後記

今号は5月臨時会にて決定の新議会組織を紹介しています。又、「和のまち」題字も新しく、メンバーでより親しみのあるわかりやすい内容で発行に努めます。

(吉田記)

追記



「太子のよさこいグループ」

私も御津の海まつりで写真を撮ってきました。

あなたの「声」を
お聴かせください



議会だよりを読んでのご感想など
お聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

◆編集

広報広聴常任委員会

委員長 堀 卓史
副委員長 藤澤 元之介
委員 吉田 日出夫
服部 千秋
中敷 清志